

感染症に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 患者のくしゃみや咳によって飛沫となって出た病原体を吸入した人が感染することを垂直感染と言う。
2. 病原体が体内で増殖し、発熱や化膿などの明らかな病的症状が現れた場合を顕性感染と言う。
3. A型肝炎は、主としてA型肝炎ウイルスに汚染された血液の輸血によって感染する。
4. エイズの感染源は、HIVウイルスによって汚染された血液のみであり、感染経路は血液を介しての感染に限られる。
5. 感染症予防対策の原則は、感染源対策、感染経路対策、感受性対策であり、保菌者の発見は感染経路対策に該当する。

正答 2

熱の伝わり方に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 伝導伝熱とは、水や空気などの流体の分子と固体表面の分子との衝突によって熱が移動することをいう。
2. 高温の物体の分子と低温の物体の分子が衝突すると、低温の物体の分子から高温の物体の分子に熱エネルギーが移動する。
3. 高温の物体から放出された赤外線は、熱媒体を介して食品に吸収される。
4. マイクロ波加熱や高周波加熱では、電磁波のエネルギーが食品分子に吸収され、熱エネルギーに変わることによって食品が加熱される。
5. 蒸し加熱による食品の中心温度の上がり方は、蒸気の温度には関係があるが、蒸気の量には関係がない。

正答 4

食に関する近年の我が国の取組に関する次の記述 A～Dのうちから、正しいものを二つ選んでいるのはどれか。

- A. 国民全体に向けた「食生活指針」(平成12年)に加えて、特に妊産婦を対象とした「妊産婦のための食生活指針」(平成18年)が策定されている。
- B. 「健康日本21」は、国民の健康づくりに関する意識の向上及び取組を促そうとするものであり、疾病対策のうちでも特に一次予防を重視している。
- C. 「食事バランスガイド」には、主食、副菜など五つの料理区分のほか、水・お茶についても、1日に必要なサービング数が示されている。
- D. 平成18～22年度の5年間を対象として策定された「食育推進基本計画」には、栄養教諭の配置の拡大についての目標値が設定されている。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. B, C
- 4. B, D
- 5. C, D

正答 1